団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ラオス人民民主共和国

日付：2025年6月30日

報告書名：令和4年度 完了報告書（日本 NGO 連携無償資金協力）

令和4年度 日本 NGO 連携無償資金協力 完了報告書

事業名	ラオス国ルアンパバーン県における学校衛生環境改善事業 School Hygiene and Sanitation Improvement Project in Luang Prabang, Laos
事業対象地	ラオス人民民主共和国 ルアンパバーン県ルアンパバーン郡・ポンサイ郡
事業期間	2023年3月2日～2024年4月1日
公的資金種別	日本 NGO 連携無償資金協力
総支出額	180,585.61 米ドル
プロジェクト 目標およびそ の達成度	プロジェクト目標である「ルアンパバーン県の対象校 25 校において、地域住民の参画を得て衛生環境が改善している」の達成に向けて、25 校にトイレや手洗い場を設置し、教員・児童・地域住民を対象に衛生啓発ワークショップを実施した。その結果、過去 3 か月以内に下痢を経験した児童の割合が、事業前の 47.19%から事業後の 30.99%へと 16.2%減少し、衛生環境の改善が数値として確認された。
実施内容概要	<p>活動 1：学校衛生施設の改善活動</p> <p>関係機関とのキックオフ会議を実施し、事業内容と役割分担の合意を得た後、両郡で 43 校を調査し、衛生施設や地域の協力体制等を基に 25 校を選定した。各校と衛生施設の設置・管理に関する合意書を締結し、併せてベースライン調査を実施した。施設建設は業者と契約の上で実施し、一部地域では豪雨の影響で遅延が発生したが、事業期間の延長で対応し、全校で完了を確認した。設置内容はトイレ 6 校、手洗い場 25 校、水タンク 11 校等である。モニタリングは写真報告や他活動と連携して行い、維持管理計画の策定も研修内で支援した。施設使用後の状況は、関係者とともに確認し、不備は建設会社に対応することで合意した。</p> <p>活動 2：学校衛生に関する知識・意識向上活動</p> <p>研修プログラムは関係機関と協議の上で策定し、UNICEF の教材を活用して、教員・住民・児童計 2,576 名に対して衛生研修を実施した。研修後にはインタビュー調査を行い、教員の 78%が週 1 回以上手洗い指導を実施し、関係者の 90%が維持管理計画通りに活動を実施していることが確認された。また、教育スポーツ省とも連携を図り、教材提供や助言を受けた。</p>

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ラオス人民民主共和国

日付：2025年6月30日

報告書名：令和4年度 完了報告書（日本 NGO 連携無償資金協力）

成果	<p>成果 1. 対象校の衛生施設が改善し、地域住民によって維持管理されている。</p> <p>指標 1-1：対象校において衛生的なトイレ 1 基あたりの児童数が 50 人以下、蛇口 1 つあたりの児童数が 20 人以下となる。</p> <p>→ 本指標は概ね達成された。トイレ 1 基あたりの児童数は平均 46.3 人、蛇口 1 つあたりの児童数は平均 6.95 人であり、目標を下回る数値である。パックガー校のみ蛇口 1 つあたり 21 人と基準を上回ったが、使用に大きな支障は生じていない。</p> <p>指標 1-2：対象校の 90%以上が、建設した施設の適切な維持、管理、使用を確認するチェックリストにおいて 8 割以上の項目を達成し、適切な衛生環境が児童に提供されていることが確認できる。</p> <p>→ 本指標は概ね達成された。手洗い場については 25 校中 20 校（80%）がチェックリストの 8 割以上を満たし、トイレについては 5 校中 5 校（100%）が基準を達成した。水源の不安定さを理由に未達成となった 5 校のうち、3 校はすでに改善されており、残る 2 校も郡教育スポーツ局と連携して対応中である。</p> <p>成果 2. 対象校の教員、住民、児童の衛生に対する意識・知識が向上する。</p> <p>指標 2-1：研修を受けた教員・地域住民の児童への衛生指導能力が向上している。</p> <p>→ 本指標は達成された。研修後の聞き取り調査では、研修内容の理解到達度が 79.72%であり（事前は 0%）、教員の 78%が週 1 回以上、97.8%が月 1 回以上衛生指導を実施していることが確認され、指導能力の向上が明らかである。</p> <p>指標 2-2：対象校において、KAP（Knowledge, Attitudes, and Practice）アセスメントの平均結果が 8 割以上となる。</p> <p>→ 本指標は概ね達成された。平均スコアは 8 割には届かなかったが、全体で事業前の 50.13 点から事業後は 70.42 点へと 20.29 点の増加が見られ、教員・住民・児童全体において衛生意識と知識の向上が確認された。</p> <p>さらに、過去 3 か月以内に下痢を経験した割合は、児童で 16.2%、教員で 14.2%、住民で 12.3%、全体では 11.6%の減少が見られ、衛生知識の向上と施設改善が疾病予防にも効果を上げていることが示唆される。</p>
----	---